

ナディ・チャート風水キット 十二方位図の作り方

※お近くに風水鑑定士の方がいらっしゃれば、依頼して十二方位図を作っていただくのも良いでしょう。(ただし、北は「磁北」で依頼してください)

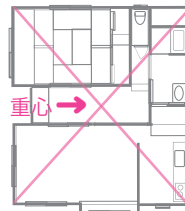
1. 家や部屋の図面を用意します

もし図面が用意できない場合には、メジャーなどを使って部屋の長さを測り、図面を作りましょう。



2. 家の「重心」を求めます。

「重心」は、風水における家の中心となるポイントです。家の形・間取りの複雑さによって、さまざまな方法があります。別紙「重心の求め方」を見ながら、求めてください。



3. 北の方位を調べます

- 1, 定規を、壁と平行になるように沿わせませす。
- 2, 定規の下に、方位磁石（コンパス）を置きます。コンパスの0度の線と、定規の線が合うようにします。
- 3, (A)この線と、(B)磁石がさし示す北の方位とが、何度ずれているのかを調べます。 (A)壁に平行な線 (B)北の方位

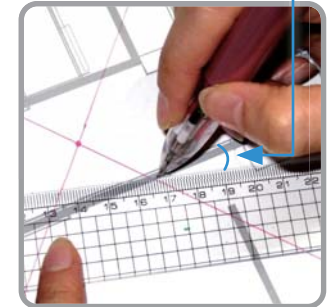


注意) ひとつの壁に対して、数か所で繰り返してどこでも同じ角度が出るかどうかください。場所によっては、鉄筋の影響や壁の歪みなどで、正しい角度が出ないことがあります。

この角度を使って、図面に北向きの線を書き込みます。

4. 図面に北向きの線を書き込みます

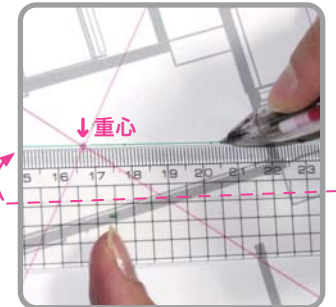
図面の中の、3.で北を調べた壁の部分に対して、3.で調べた角度に従って、北を示す線を書き込みます。



5. 「重心」を通る北向きの線を書きます

4. で書いた線と平行になるように、「重心」の上に北向きの線を引きます。

平行になるように



6. 分度器で区切り点を打ちます

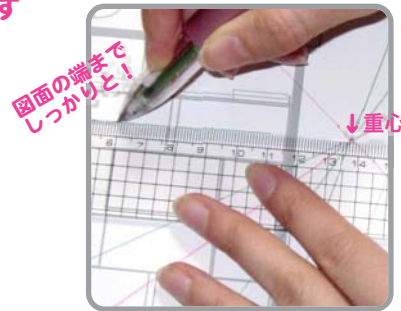
分度器の中心を「重心」に合わせ、
0度の線を北向きの線に合わせます。
そして、次の角度のところに点を書き込みます。
→15, 45, 75, 105, 135, 165
(これが十二方位の区切り点になります)



7. 区切り点と重心を結ぶ線を引きます

6. で打った区切り点と、
「重心」とを線で結びます。
線は図面の端から端まで引いてください。

これで、図面が十二方位に区切られました。



8. 番号を書き込みます



北の方位から、時計回りに
1～12まで番号を
書きこんでください。
これで完成です！

